

10月は「3R推進月間」です。



今週は上空に強い寒気が流れ込み、北国から初雪の便りも届いた日本列島。
足踏みしていた夏もようやく退場して、季節は秋へと進みました。

夏物から秋冬物へ、衣替えはお済みですか。

しまっておいた服や靴、マフラーや手袋などを出して広げると、
「こんなに傷んでんだ～、恥ずかしくて着られないな」
「体形も趣味も変わったし、もう要らないかな」
などと感じるアイテムがあるものですね。

衣替えの際にワードローブの整理をする人が多い、
というアンケート結果にもうなずけます。

ただし、問題なのは
「どう処分するか」ということ。

ポイっと捨ててしまうのは気が引ける、
となると、地元自治体の資源回収に出すか、
不用品買い取りショップに持ち込むか、
ネットオークションやフリマサービスで売ってしまうか。
支援活動に活用してくれる団体に寄付する、という手もあります。

これ、いずれも「リユース」といえるアクション。
まだ使える不用品をなんらかの方法で捨てずに活かすことで
ゴミを減らして環境への負担を抑える、立派なエコ活動。

同じような意味で「リサイクル」という言葉もあり、
中古品を売買するお店をリサイクルショップと呼んだりしますが、
本来「リサイクル」は「再び資源として使う」ことを意味します。
アルミ缶を回収してアルミの原料に再生する、
というイメージがわかりやすいでしょうか。

また、無駄な包装を断る、食べ残しをしない、修理をして長く使う、
といった行動で直接的に「ゴミを減らす」ことを呼びかける
「リデュース」という言葉もあります。

リユース (Reuse) = 何度も繰り返し使うこと。
リサイクル (Recycle) = 再び資源化して使うこと。
リデュース (Reduce) = ゴミを減らすこと。

この3つの英単語の頭文字を取った
「3R (スリーアール)」という言葉をご存じですか？

「3R」は、環境を守るためにゴミを少なくしようという考え方。
もったいない、という気持ちで日々、いろいろな工夫をされている方は、
いつのまにか日常的に「3R」を実践しているといえますね。

実は、今月10月は「3R推進月間」。
全国的にさまざまなイベントやキャンペーンが行われています。

そしてSDGsへの関心の高まりもあり、
最近では「3R」よりさらに広い視野で資源や環境を考える
「サーキュラー・エコノミー」の考え方も徐々に広まりつつあります。

「循環型社会」や「持続可能性」を追求する「サーキュラー・エコノミー」。

和紙繊維〈CURETEX®〉をプラットフォームに、
独自の循環型スキームでサステナブルな暮らしをかなえたい。

私たちは「サーキュラー・エコノミー」な未来を、もう、つくり始めています。